

リフト付介助用車椅子

KC310

LIFTY II

取扱説明書



キシ・エンジニアリング(株)

ごあいさつ

この度は、リフト付介助用車椅子 KC310（LIFTY II）を御買上いただきありがとうございます。

この車椅子は、座席の昇降機能を持っていますので、色々と便利な使い方が出来ます。お取扱いになる前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時生じる危害や損害の程度を下記のシンボルマークで区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが生ずる可能性が想定される」内容です。

■ 車椅子を安全にご使用いただくための注意事項です。必ずお読みください

取扱注意点

- 火気を近づけないでください
- 腰をかける部分以外には座らないでください。
- 一人乗りなので、子供を含め、二人乗りはしないで下さい。
- フットレストの上に立たないで下さい。
- 乗降時はブレーキをかけていても動くことがあります。
- 正しい安定した座り方をして下さい。（倒れ掛かるような座り方をすると転倒したり壊れやすくなります）
- 走行中及び座席の昇降中は身体の一部及び衣服が、タイヤ、キャスター、リフト装置及び床、障害物、周囲の人間に触れたり、挟まったりしないよう、車椅子に安全に座れているか確認してから操作して下さい。

車椅子を放置してはいけない場所

- 直射日光の当たる場所
- ストープ等火気を使用し高温になる場所
- 湿気の多い場所
- 子供が勝手に触る場所

介護者の注意点

- 介護者は絶対に車椅子に乗って介護をしないで下さい。
- 痴呆症の方の場合は部品等を飲み込むことも考えられますので、注意してください。



警告 車椅子から離れる時は必ず電源スイッチとブレーカーを切して下さい。



警告 水をかけたり水に浸かるような場所で使用するとショートする可能性があります。濡れた場合は、乾いた雑巾等で拭き取して下さい。

目 次

安全運転のために

運転の前に 3

ラベルについて . . 3

取扱い方法

各部の名称 4

使用方法 5

操作パネル 6

バッテリー 7

タイヤ 8

日常点検 9

定期点検 10

故障時の処置 . . . 11

電気配線図 12

仕様諸元 13

連 絡 先 13

品質保証書 14

安全運転のために

運転の前に

- ・ KC310(LIFTY II)は室内専用です。道路での走行はしないでください。
- ・ はじめて運転される時は、取扱説明書をよくお読みの上、介護者と一緒に安全な広い場所で機能をマスターしてからお使いください。
- ・ 走行する前には必ず日常点検を行ってください。
- ・ 改造はしないでください。不適切な改造は事故や故障の原因となります。
- ・ 性能を維持するため、使用される方の体重を 90kg 以下と制限しております。それ以上の方は使用しないでください。

ラベルについて

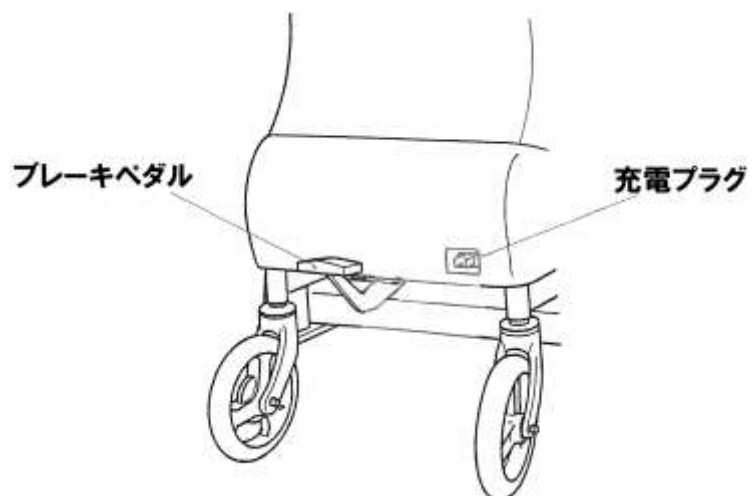
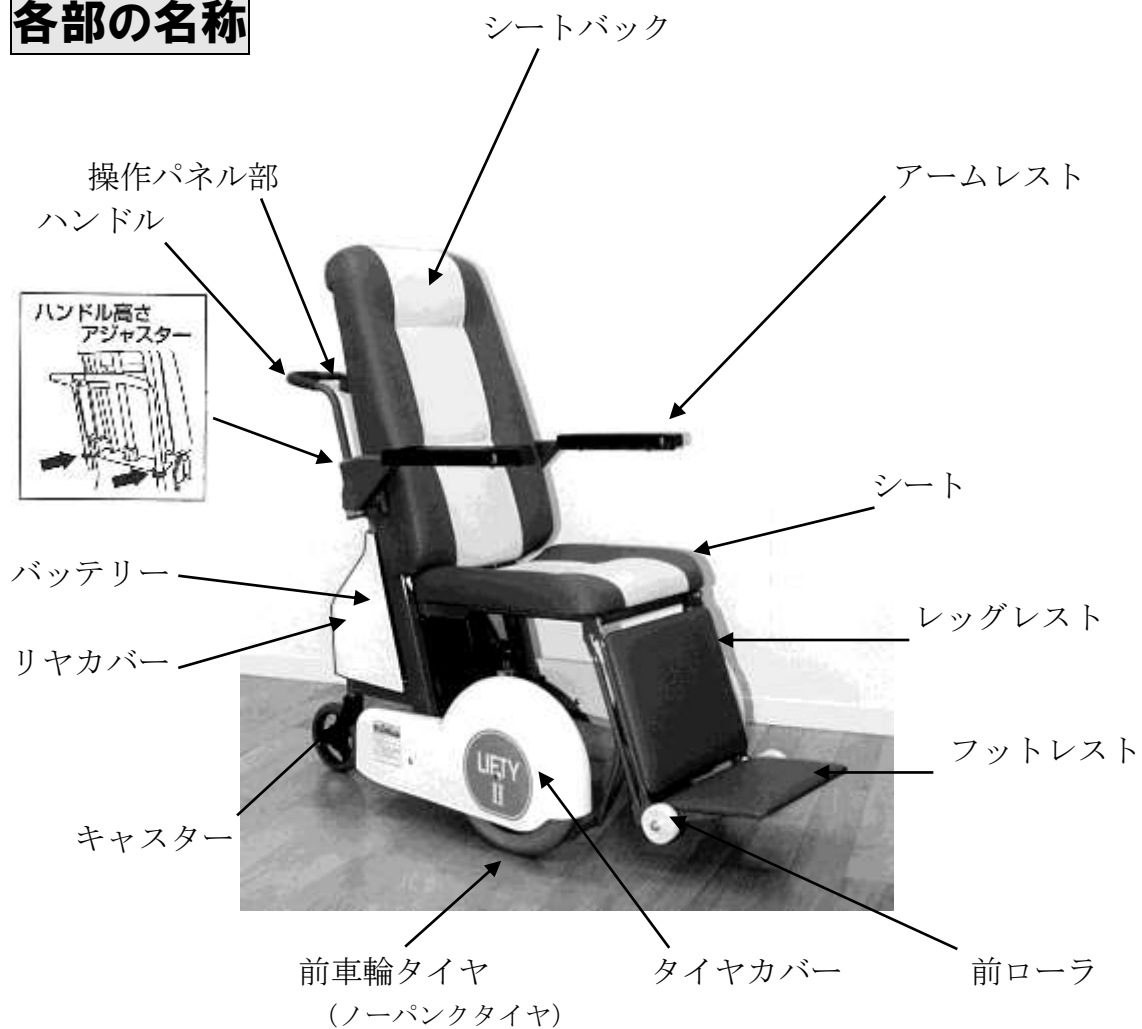
- ・ 取扱上の重要な事項を記載したラベルが車に貼ってあります。必ずお読みください。ラベルを汚したり剥がしたりしないで下さい。

ラベル貼付図



取扱い方法

各部の名称



使用方法

使用する前に

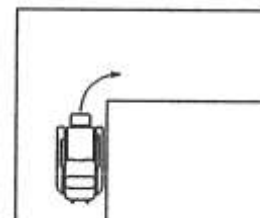
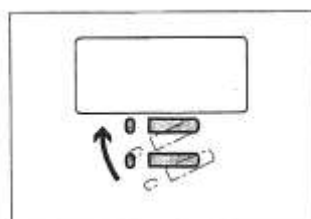
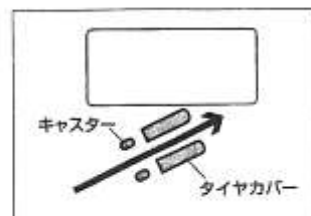
1. この車椅子は、足の長さに合わせてレッグレストの長さが2段階調節できます。また介助者の身長に合わせて、手押ハンドルの高さが調節できます。使用する前に最適な状態に合わせてください。
2. 車椅子に乗る前に電源は切っているか、ブレーキがかかっているか確認してください。
3. 車椅子には安定する座り方をしてください。
4. 電源スイッチを入れて、バッテリー残量が充分かどうか確認してください

使用上の注意

1. 移動時は、フットレストに足を乗せて下さい。
2. アームレストは、倒して移動してください。
3. 段差のある場所ではスピードを落としてください。
4. 段差の乗り越えは後進の方が容易です。前進の場合は片輪ずつ超えるようにすると安全です。
5. この車椅子は後輪がキャスター車輪になっていますので、後部を振って旋回します。前進では曲がる方向へ寄りながら旋回してください。後進では曲がる反対方向へ寄って旋回してください。

●ベッドやいすに横付けする場合

タイヤカバー先端を対象物に近付けた後、キャスターを振るようにして横付けする。



⚠注意

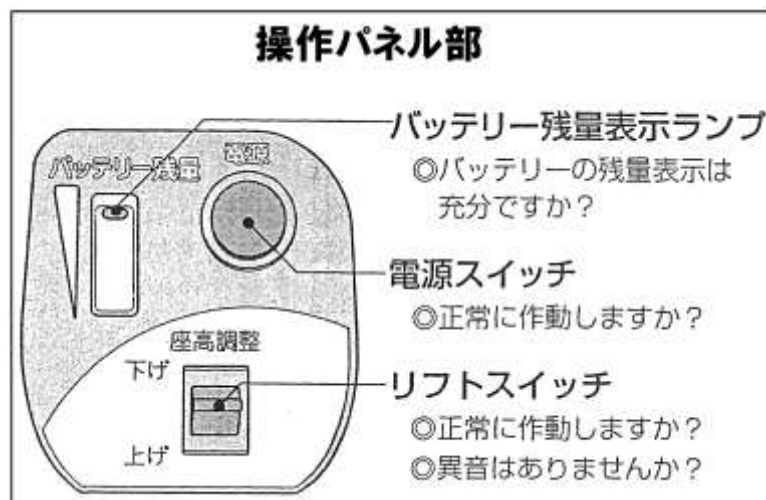
使用後は誤作動防止とバッテリー充電のため、必ず電源スイッチを切ってください。もし切り忘れても10分後に自動的に電源が切れます。その場合、次に使用するときは電源スイッチを一度押し、切状態にしてから、もう一度押すと電源が入ります

⚠警告

停止中は必ずブレーキペダルを踏み、ブレーキをかけてください。ブレーキをかけ忘れると傾斜地等で勝手に動き出し、とても危険です。

操作パネル

標準では操作パネルは、手押ハンドルに取り付けてあります。オプションで左右のアームレストの前に取り付けることもできます。



座席を上下する時

- ・ 電源スイッチを入れます
- ・ リフトスイッチを<上げ>にすると座席は上昇します。
- ・ リフトスイッチを<下げ>にすると座席は下降します。

- 座席を下げる時、何かを挟んだり、引っ掛かるとマイクロスイッチが切れ、それ以上 下がらないようになっています。(安全上)

△注意	リフトを上下させる時には、車椅子の近くに障害物や人間がいないか、また、衣類等を挟まないか確認してから行ってください。
△注意	一定時間何も操作しないと、安全上電源が自動的に切れますので、再び電源スイッチを入れなおしてください。

バッテリー残量ランプ

満位置・・・満充電状態です
 空位置・・・早めに充電をしてください
 表示が消えたとき・・・充電しないと使用できません

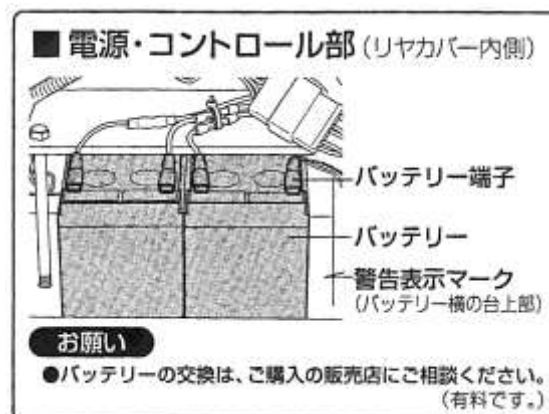
バッテリー

シールドバッテリーを使用していますので、バッテリー液量の点検および、補水の必要はありません。



**バッテリーのシール部分は開けないで下さい。
バッテリーに貼付されているラベルをよく読んで、その指示に従ってください。**

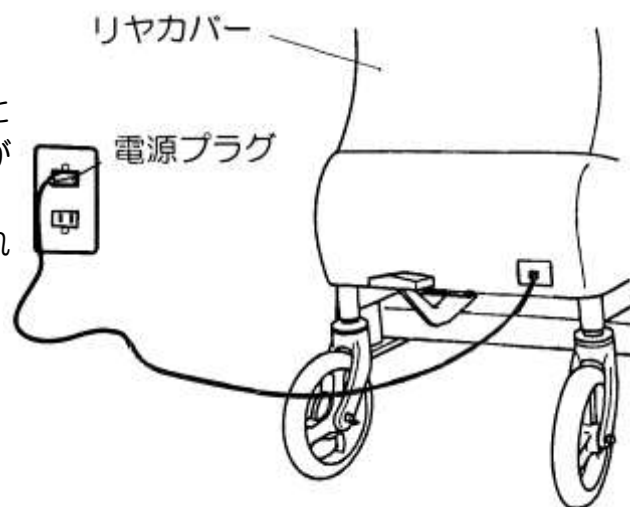
- ・ リヤカバーを開けるとバッテリーが見えます。
- ・ バッテリー端子へ配線は図のように接続されています。
- ・ バッテリーを交換する時には、配線を間違えないようにして下さい。また、端子はしっかり挿入してください。



バッテリー充電のしかた

- ・ 電源スイッチを切ります。
- ・ リヤカバー右の穴から電源プラグを引き出して、コンセントに差し込んで下さい。
自動的に充電が始まり、一定時間後に完了します。
- ・ 電源スイッチを入れて、バッテリーインジケータが満状態になっていることを確認してください。
- ・ 充電は夜間に行うと効率的です。3時間でほぼ充電しますが8時間以上かけて完全充電してください。
- ・ 充電は自動的に完了しますが、1 2時間以上電源プラグを差したままにしないでください。

- 電源プラグを巻戻す時は、少し引くとコードリールのロックが外れコードが引き込まれます。
- リヤカバーの内部に充電器が内蔵されています。
充電器の電源スイッチは常に「ON」状態にしておいてください。



⚠警告	・ 引火爆発のおそれがあります。充電中バッテリーに火気を近づけないで下さい。 ・ バッテリーは可燃性ガスを発生することがあります。火気を近づけたり、近くで喫煙したりしないでください。 ・ 感電のおそれがあります。濡れたプラグや濡れた手で充電しないで下さい。 ・ 濡れたプラグや濡れた手は乾かしてから充電してください
⚠注意	・ この専用充電器以外の充電器でバッテリー充電はしないで下さい。 ・ 充電器の分解改造はしないでください。

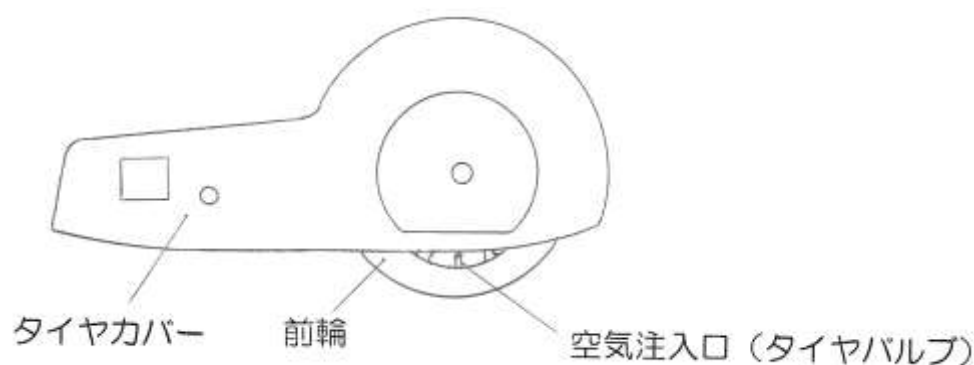
- バッテリーを取り出す場合、バッテリーコードは持たないで下さい。
- 長期間使用しない場合は、満充電にしてブレーカーを切っておいてください。
- 充電してもバッテリー残量ランプがすぐ緑2になるようでしたら、バッテリー寿命がきています。指定バッテリーを2個同時に交換してください。
(バッテリー残量が少ない状態で放置すると、バッテリー寿命を著しく劣化させます)

タイヤ

- 空気入りタイヤをオプションで用意しております。
- タイヤの空気圧が下がると車椅子が良好に動かなくなります。空気圧は下記の範囲にして御使用ください。

前 輪 206 ～ 226 kpa(2.1～2.3 kgf/c m²)

(タイヤカバーの内側から空気を注入してください)



日常点検

次の点検を必ず行ってから走行してください。異常がみられる場合には、ご自身で点検されるか、または、販売店で点検を受けてから使用してください。

点 検 箇 所	点 検 項 目
前輪タイヤ	ゆるみ・ガタはありませんか
	溝の深さは十分ですか
	亀裂・損傷はありませんか
後輪キャスター	ゆるみ・ガタはありませんか
	正常に作動しますか
電源スイッチ	正常に作動しますか
リフトスイッチ	正常に作動しますか
バッテリー	バッテリーの残量は十分ですか
ブレーキペダル	ブレーキは正常に作動しますか
	ブレーキのすべり、ガタはありませんか
	ペダルの作動はスムーズですか
車体各部	ネジのゆるみ・ガタはありませんか
リフトシリンダ	異音はありませんか
	正常に昇降しますか
	昇降時の引っ掛かりはありませんか
	昇降用ガイドローラ部のグリースは切れていませんか
	リフトシリンダ伸縮シャフト部のグリースは切れていませんか
その他	液洩れはありませんか

グリース塗布について（推奨はリチウムグリースです）

- 昇降用ガイドローラ部のグリースが切れたら、塗布してください。
- リフトシリンダ伸縮シャフト外周のグリースが切れたら、塗布してください

定期点検

安全にご使用いただくために必ず販売店で点検（有料）を受けてください。
（長期間使用しなかった場合も、使用前に定期点検を受けてください。）

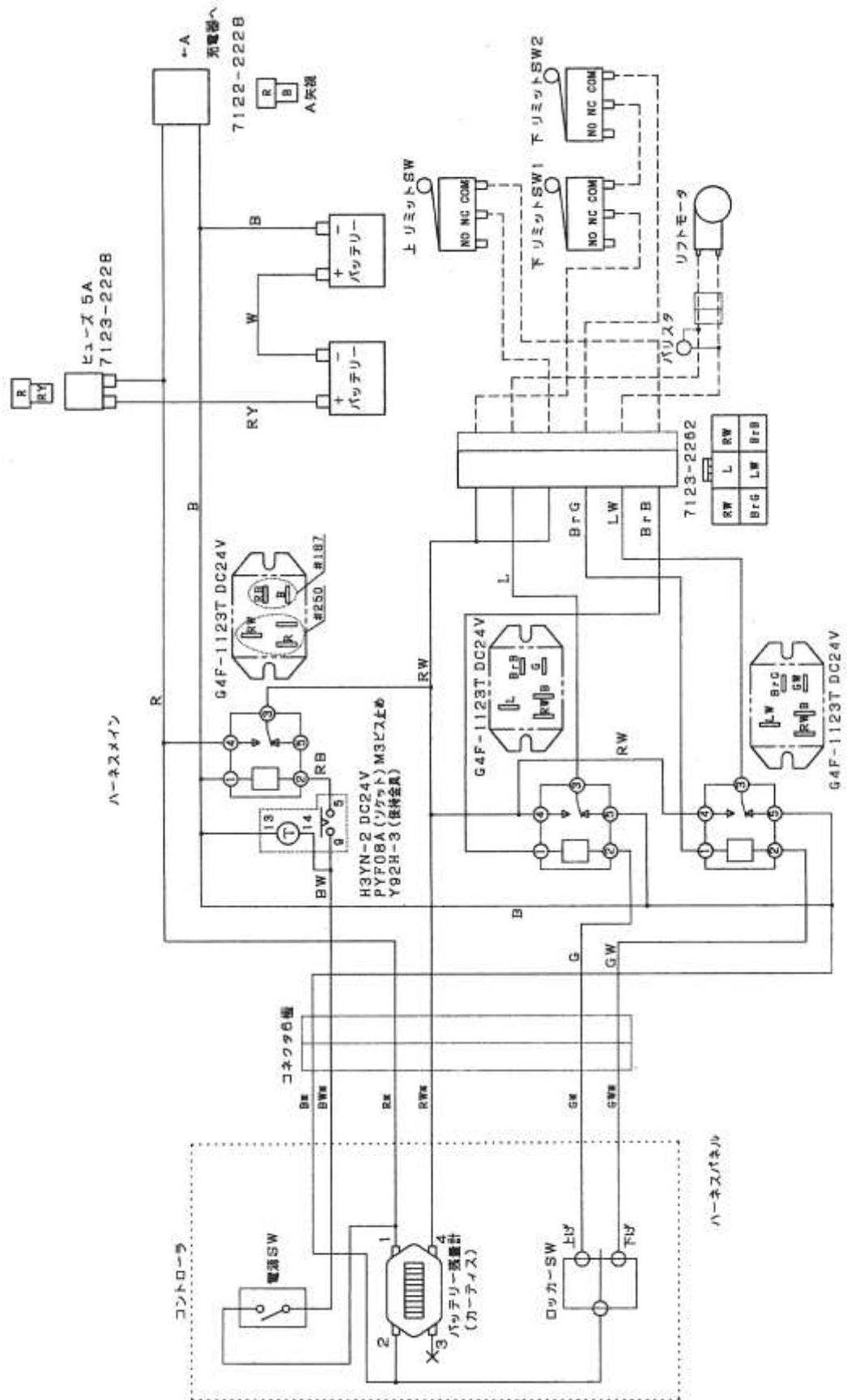
項 目	点検結果：○・締付・修理・交換				
	1ヶ 月	6ヶ 月	1年	1年 半	2年
スイッチ類の作動、戻り					
ひじかけの作動					
リフト装置の異常音、こすれ、配線の 引っ掛かり					
リフトシリンダの作動、異常音					
リフト上下限のマイクロスイッチ作 動（3箇所）					
リフト動作時のフットレストの動き、 ネジのゆるみ、変形					
充電器の機能、ランプの点灯					
充電器コネクタのゆるみ、損傷					
各配線のコネクタのゆるみ、損傷					
リヤカバーの開閉、損傷					
タイヤカバーの損傷、タイヤとの接触					
ブレーキペダルの作動・引き摺り					
フレーム、レバー類の変形、損傷					
各取付ネジのゆるみ、部品の脱落					
シートの汚れ、へたり、取付ネジの緩 み					
後輪キャスターの回転、損傷、ガタ、 取付ネジのゆるみ					
前輪タイヤの回転、損傷、ガタ、取付 ネジのゆるみ					

故障時の処置

故障が生じた時は、それぞれの症状に対して次のことを確かめてください。
修理の必要な場合はお買い上げ販売店にご相談ください。

故 障 内 容	チェック項目	
リフトが作動しない	(1)	電源スイッチが入っていますか
	(2)	バッテリーの残量は十分ですか
	(3)	座席が引っ掛かっていませんか
	(4)	リフトシリンダの配線が外れていませんか
	(5)	リフトスイッチが破損していませんか
充 電 し な い	(1)	バッテリーの寿命がきていませんか
	(2)	充電器が故障していませんか
	(3)	充電プラグはしっかり差してありますか
	(4)	充電プラグの配線が外れていませんか

電気配線図



仕様諸元

寸 法	全長 1110～1430mm 幅 570mm 高さ 850～1110mm
座 席 高 さ	150～500mm
重 量	43 k g
車 輪 直 径	前 310mm 後 150mm
バ ッ テ リ ー	DC24V 専用バッテリー
リフトモーター	40W
充 電 器	電子タイマー付 自動充電方式
昇 降 速 度	全ストローク 28 秒
旋 回 半 径	600mm
昇 降 回 数	一回の充電で 50 回以上
ブ レ ー キ	足踏み自動ロック、足ハネ上げ解除方式

※本仕様は改良により、変更することがあります。

連絡先

- ・ 不明な点、サービスなどについてのご相談、ご意見がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・ お客様のご相談に対して的確な判断、処理を行う上で必要になりますので下記の事項をご確認の上ご相談ください。

ご購入年月日	年 月 日
機 種	
車 体 番 号	
ご購入店名	
	TEL ()
ご相談窓口	キシ・エンジニアリング(株) TEL0853(23)6383

保 証 規 定

- 保証期間内に、取扱説明書等に従った正常な御使用状態で故障した場合には無料修理いたします。
- 保証期間はご購入後1年間です。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ご購入後の移動、衝突、接触による故障及び損傷
 - 天災、地変等による故障及び損傷
 - 消耗部品、タイヤ、チューブ
 - 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印の無い場合
 - 保証書のご提示が無い場合
- 以上の保証は日本国内に本製品を設置した場合に限ります。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中、万一故障が生じた場合はご購入の販売店へ保証書を添えてお申し出下さい。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

品質保証書

- 本商品については上面記載の「保証規定」により、保証期間中に正常な使用状態において故障が発生した場合には、無償にて修理いたします。
- 本書をご提示の上、ご購入の販売店に修理をご依頼ください。

機 種					
車体番号					
お買い上げ日		令和 年 月 日	保証有効 年 月 日	令和 年 月 日	
お 客 様	ご住所	〒			
		TEL			
	ご氏名				
販売店					
総販売元					
製造元		キシ・エンジニアリング株式会社 〒693-0064 島根県出雲市里方町893-5 TEL 0853 (23) 6383 FAX 0853 (23) 7367			